

事業プロフィール I

認可保育所

1 ()

2 (1) 運営主体 (法人名等) :

(2) 設置主体 :

3 事業所所在地 : 〒

4 事業所の長の氏名 (施設長等) :

5 連絡先

T e l		F a x	
Eメール		ホームページ	

6 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内 (例: 特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなど、評価対象事業を含む。)

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

7 定員および現在の利用者

※内訳は別紙のとおり

8 職員の状況

(1) 職員数

区 分	計	男性	女性
常勤職員数			
非常勤職員数			
計			

(2) 専門職員の人数

専門職の名称	人数	専門職の名称	人数	専門職の名称	人数

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

*職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

全ての勤務形態・業務内容を記入する必要はありません

(4) 前年度採用・退職の状況

	計	常勤	非常勤
採用			
退職			

- (5) 常勤職員の平均年齢 歳
- (6) 常勤職員の平均在職年数 (現在の事業所での在職年数とする)
- (7) 直接支援に携わっている職員 (非常勤は常勤換算) 1人当たりの利用者数 人
(計算式: 定員 ÷ 直接支援に携わっている職員数)

9 実習生の受け入れ状況

前年度の実習生受け入れ人数 人

【内訳】

実習の種類	受け入れ人数

10 ボランティアの受け入れ状況

前年度のボランティア受け入れ人数 人

【内訳】

ボランティアの内容	受け入れ人数

11 平面図等施設の状況がわかるものを添付

事業プロフィールⅠ（７ 定員及び現在の利用者 内訳） 認可保育所 版

7 定員及び現在の利用者（ 年 月 現在）

※下記の利用者の状況が分かる表を添付するか、下の空白部分に書き込んでください。

(1) 一般保育

	定員（人）	利用者児（人）
0歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		
4歳児		
5歳児		
計		

(2) 多様な保育サービス

	定員（人）	利用者児（人）	料金（円）	備 考
産休明け保育				
延長保育事業				（ ）時間延長
病児・病後児保育事業				
休日保育				
一時預かり事業				
障害児保育事業				
分園設置			444	
アレルギー児対応				
夜間保育				
育児困難家庭への支				
外国人児童受入れ				
年末年始保育				
子育て広場※1				事業内容番号
在宅子育て支援※2				事業内容番号
その他（ ）				
計				

※1 子育て広場には、つどいの広場を含む。

※2 「在宅子育て支援」欄は、在宅子育て家庭を対象とした子育て支援事業を実施している場合

に、備考欄に下記の事業内容番号を記入すること。

- ①育児相談 ②育児講座 ③保育所体験 ④出産を迎える親の体験学習
⑤子育てサークル支援 ⑥子育て情報誌の発行 ⑦家庭訪問 ⑧出前保育

事業プロフィールⅡ

1 理念・ビジョン、基本方針など（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）

事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン、基本方針など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）

- 1) 子ども一人ひとりの「生きる力」を育む保育を実践する
- 2) 子どもが安心して自分を表現できる、温かく受容的な保育環境をつくる
- 3) 保護者と共に子どもの育ちを喜び合い、子育てを支える地域の拠点となる
- 4) 職員一人ひとりが専門性と人間力を高め、チームで保育の質を追求する
- 5) 地域・関係機関と連携し、社会的責任を果たす保育所として運営する

※ 理念・ビジョン、基本方針などがわかるものを添付して下さい。

2 サービス提供の考え方について記述（関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス）

日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた事業者独自の取り組み、利用者や家族との関係、地域との関係を含む

保育の基本は「子どもの主体性を尊重すること」と考えている。保育者は「環境を整える専門家」として、子どもが自ら選び・試し・気づく場面を大切にしている。保護者との関係は、連絡帳・送迎時の対話・個人面談を通じた日常的な信頼関係を基盤とし、「ともに育てる」姿勢を大切にしている。保護者の子育ての不安・悩みには随時個別相談で応じている。地域との関係については、地域の子育て家庭を対象とした園庭開放・育児講座の実施、高齢者施設・農家との交流など、地域に開かれた保育所として積極的に関わりを持つことを重視している。

3 期待する職員像（関連 カテゴリー2 職員に求められる能力）

（1）職員に求めている人材像や役割

- ・子どもの姿を丁寧に観察し、一人ひとりの発達に応じた援助ができる保育士
- ・チームで学び合い、互いの専門性を高め合える協働者
- ・保護者の思いを受け止め、子育てのパートナーとして信頼される存在
- ・法令・倫理を遵守し、子どもの権利擁護を実践できる社会人

※ 事業所のキャリアパス（事業所が求める職責または職務内容に応じた人材像）があれば添付して下さい。

（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）

- ・「この子のために何ができるか」を常に問い続ける使命感を持ってほしい
- ・子どもの「できた！」「楽しい！」を共に喜べる感性を大切にしてほしい
- ・保育者としての専門性向上に自ら主体的に取り組み、成長し続けてほしい
- ・困ったときはチームに相談し、一人で抱え込まない職場文化を共につくってほしい

4 現在のサービス提供能力と利用者数(関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス)

(以下のどれかに○をつける)

- 1) サービスを希望しながら待っている人(事業所に登録している待機者)がかなりいる
- 2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない
(ほぼ定員を満たしている)
- 3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい
- 4) その他 ()

5 3年後の見通し(関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

(以下、「契約による利用」、「措置など契約以外による利用」のどちらかを選んだうえで、一つに○をつける)

〔契約による利用〕

- 1) 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
- 2) サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力に見合う利用者数は維持できると思う
- 3) 現在の利用者数を維持するのは経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないと思う
- 4) その他 ()

〔措置など契約以外による利用〕

- 1) 施設規模の拡大または新たなサービス提供を行う計画がある
- 2) 現在の施設規模、サービス提供能力を維持する方向で考えている
- 3) 現在のサービス提供能力を維持するのは、経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないと思う
- 4) その他 ()

6 評価対象のサービス事業に関して事業者として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述 (関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

〈人的サービス面〉

- 1) 経験年数・資質に応じた個人別研修計画と年 2回の個人面談による、きめ細かな人材育成の実施
- 2) 申し送りミーティング・事例検討会・指導計画共有ファイルによる職員間の情報共有と組織保育の実践
- 3) 多国籍家庭・発達支援が必要な子どもへの個別対応(多言語資料・個別支援計画・専門機関連携)

〈設備・環境面〉

記入例

- 1) コーナー保育を実現する自由遊びゾーンの常設と、年齢別に配慮した保育室の環境設定
- 2) SIDSチェック・感染症・アレルギー対応の三重チェック体制を実現する安全管理設備と記録システム
- 3) 食育推進のための菜園スペース(プランター栽培)とクッキング設備の整備

7 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷（制度改正に基づくもの含む）

1) 開始時期 年 月

2) 重要な変遷

開設以来、地域の待機児童解消に寄与してきた。子ども・子育て支援新制度（2015年）移行に伴い延長保育の拡充・一時預かり事業を開始。近年はコロナ禍を経た行事形態の見直し、ICTアプリを活用した保護者連絡の電子化、医療的ケア児の受け入れ体制整備など、多様なニーズへの対応を継続的に進めている。

8 経営に影響を与えていると考えている事業環境の変化を記述（制度改正を含む）（関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行）

- ①少子化の進行による児童数減少と定員充足率の維持が経営課題となっている。
- ②保育士の人材不足・離職率の高さへの対応(採用力強化・職場環境整備)が急務である。
- ③外国籍家庭の増加により、多言語対応・文化的配慮へのニーズが高まっている。
- ④こども家庭庁によるこども誰でも通園制度等の新たな施策動向が今後の事業設計に影響を与える可能性がある。

9 評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていかなければならないかについて、重要な順に3つ以内で記述（関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行、カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動）

- 1) 保育士の確保・定着のための職場環境整備(処遇改善・働き方改革・メンター制度の充実)の継続的推進
- 2) 多様な家庭背景への対応力強化(多言語資料整備・専門機関連携強化・インクルーシブ保育の充実)
- 3) ICTの活用推進(保護者連絡・記録管理の電子化)による業務効率化と職員の事務負担軽減

10 福利厚生（公的な福利厚生制度への加入・職員の交流会、職員の余暇活動、日常生活への支援など）への取組状況、及び職員の利用状況について記述（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）

法人の共済制度(慶弔見舞金・健保組合)に加入。年1回の親睦旅行・職員交流行事を実施している。育児休業・介護休業の取得実績あり、時短勤務も整備。ストレスチェック(年1回)と産業医・EAP相談窓口を設け、職員のメンタルヘルスをサポートしている。

11 事業所の権限

事業所に最終的な決定権があるものに全て○をつけてください

- | | | |
|---------------------|-------------|------------------|
| 1 理念・ビジョン、基本方針などの策定 | 2 中・長期計画の策定 | 3 予算の編成 |
| 4 職員の採用 | 5 職員の異動・配置 | 6 職員の育成（研修）計画の策定 |

記入例

- 12 評価を実施するにあたり、評価機関に知っていて欲しいこと（経営層が考えていること、利用者の状況、職員の状況など）を自由にご記入ください

当園は開設以来、地域に根ざした保育所として保護者・地域から信頼をいただけてきた。職員の定着率向上と保育の質向上を最重要課題として取り組んでいるが、少子化・人材不足という厳しい経営環境の中で苦心している側面もある。第三者評価を通じて、私たちが気づいていない強みと課題を客観的にご指摘いただけることを期待しており、評価結果を次年度の事業改善に積極的に活かしたいと考えている。

記入例